

松倉地区地すべりの現地調査報告

学識経験者 北澤秋司（信州大学名誉教授）

現地調査 日時 H18年7月23日 10:30～15:30

場所 伊那市高遠町松倉

出席者 市（高遠支所）、市消防、伊那建設事務所、上伊那地方事務所、天竜川上流河川事務所

現地の状況を地すべりと判断し、地すべり専門家である信州大学名誉教授（日本地すべり学会中部支部の支部長）の北澤秋司先生と共に現地踏査を実施した。

上流部地すべり箇所の見解

・この地すべりは基盤上の浅層の崩土が湧水のパイピングの発達により動いたものであり、現地の各種調査により現時点での深部からの大規模な崩落は考えられない。ただし今後の雨にも十分警戒は必要である。土石流センサーは県により火曜日頃設置されると聞いている。市においては警戒・避難体制の確立を図ること。

下流部地すべり箇所の見解

・木が動いたという通報があったらしいが、木が倒れたりした痕跡は見られなかった。
・地すべり地で見られる湧水もなく、全く動いていない。

